

## 第8回総合計画審議会における意見一覧

No.	分野	委員によるご意見
1	<p>【部門別の取り組み】 「施策目標11. すべての人々がお互いの人権を尊重しあうまち」</p>	<p>(後閑委員) これからの10年、20年を考えると、様々な国の人々が来て一緒に住む社会になると考えられることから、多文化共生社会に関する視点をどこかに記載すべきではないか。学校教育・健康・医療・災害など様々な分野に関係すると思う。</p> <p>【ご意見に対する回答】(事務局) 多文化共生は、具体的には社会教育の一環として取り組んでおり、また、人権の中で「性別や国籍の違い、高齢者、障害者などに対する差別・虐待」と課題認識しているのので、こういったことを踏まえ整理する。</p>
2	<p>【部門別の取り組み】 「施策目標15. 子どもが健やかに育つことができるまち」 「施策目標16. 子どもの生きていく力を育む教育が充実したまち」</p>	<p>(富岡委員) 小中一貫だけでなく、保幼小連携が重要となっており、スタートカリキュラムを作成している京都市などの自治体もあるが、枚方市はどう考えているのか。</p> <p>【ご意見に対する回答】(事務局) 課題と考えており、どのように記載できるか検討する。</p> <p>(角野委員) 保育所の保育指針と幼稚園の教育要領とは、ほぼ同じ内容にオーバーラップされており、厚生労働省と文部科学省との違いはあるものの、基本的には認定こども園という方向の流れにあるので、教育委員会は十分に認識しているはずである。</p>
3	<p>【部門別の取り組み】 「施策目標15. 子どもが健やかに育つことができるまち」 「施策目標16. 子どもの生きていく力を育む教育が充実したまち」</p>	<p>(角野委員) 食中毒の防止や食育に関する記載だけでなく、アレルギーについても問題となっているので、どこかに記載すべきではないか。</p> <p>【ご意見に対する回答】(事務局) 学校教育などの部門で、記載内容を検討する。</p>
4	<p>【部門別の取り組み】 「市民、市民団体、事業者の主な取り組み」</p>	<p>(伊東委員) 市民や事業者に関する記載はあるが、市民団体の取り組みの記載が薄いように思う。</p> <p>【ご意見に対する回答】(事務局) 市民、市民団体、事業者と連携して計画を進めていくことが前提であることから、再度、各部門において整理する。</p> <p>(三輪信哉委員) 地域、校区コミュニティ、市民団体など様々な表記を使っており、言葉遣いの整理が必要ではないか。また、地域コミュニティについては、防災面などで重要な役割を果たすが、そのあたりが薄いのではないか。</p> <p>(新川会長) 市民、市民団体、事業者の取り組みをバランスよく記載し、表記の使い分けについて再整理してほしい。</p>

No.	分野	委員によるご意見
5	【重点的に進める施策】	<p>(三輪信哉委員)            重点化すべき取り組みに、市民活動を活発にしていくという視点がない。今後、行政サービスが縮小していく中で、それに代わる市民の自助、共助を力強くするよう、行政が育てていくことが重要である。重点化する取り組みの総論部分ではその内容がぼやけてしまうため、例えば重点項目「3. 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる」の中の4つ目の項目あたりに、市民活動への支援の視点を入れてはどうか。</p> <p>【ご意見に対する回答】(事務局)            自助、共助などの視点は、重点化すべき項目の全てに関わっていることから総論部分で整理しているが、ご意見を踏まえ、よりわかりやすくなるよう検討する。</p>
6	【重点的に進める施策】	<p>(加藤委員)            市民、NPOなどの活用・育成については、個別に記載するだけでなく、重点施策の1つとして入れていくこともわかりやすいのではないか。</p>
7	【重点的に進める施策】	<p>(徳久委員)            みんなで連携して社会をつくっていくのであれば、実現主体の「みんながつながり、支えあうまちづくり」という考え方が重点化する取り組みの1つの柱になってもよいのではないか。連携の視点については、福祉・教育など様々な分野で縦割りにはやっているけれど、例えば行政が地域の受け皿を一本化する、また、中間支援の役割など横串の課題が明確に意識されていないように思う。            この課題は基本計画の12年間でも短いくらいで、3つの課題をうまく機能させるためには、「みんなでまちをつくる」という体制を基本計画の最初の12年間で行っていくということを掲げた方がよいと思う。</p>
8	【重点的に進める施策】	<p>(角野委員)            重点化する取り組み項目は、世代ごとに分けて設定しているように感じるが、本来、どの項目にも全ての市民に関わりのあるものなので、その担い手は誰でエンジンはどこにあるのかということに記載すべきだと思う。</p>
9	<p>【重点的に進める施策】            「1. 安心して子どもを産み育て、子どもが健やかに成長できるまちをつくる」</p>	<p>(三輪信哉委員)            子育てや教育などの部門別の取り組みを見ても、保護者への支援や英語教育などの学力向上のことが記載されていて、子どもたちが困われた中で育つ印象が強く、自由に走り回って楽しそうに育っていくようなイメージがない。例えば、路地の芝生化や児童公園の増設など、子どもたちが自然とふれあひながら遊ぶことができる空間の整備も必要だと考える。</p> <p>(富岡委員)            子どもの遊ぶ環境の質の低下は以前から指摘されていて、保育の現場ではその質をいかに豊かにできるか努力しているのが現状である。都市のデザインとして、子どもの遊ぶ環境を有効に配置し、ネットワークを構築していくことで、子どもの遊び場が整っているまちはとても魅力的だと思う。</p>

No.	分野	委員によるご意見
10	<p>【重点的に進める施策】 「3. 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる」</p>	<p>(加藤委員) めざすまちの姿の「一人ひとりが輝くまち」を踏まえると、この項目は、成熟社会において、都市型でありながら自然、文化が享受でき、市民が利便性の高い生活を送ることを理想としているように思えるが、それは産業育成や雇用創出の視点とは少し異なっているように思う。 人口減少社会の中で行政サービスを持続するため、財源確保策などの目標を立てて重点施策を実行するという考え方もあるが、一方で、全体的な流れからすると、住宅都市として、比較的若い人たちなど住み続ける市民が増え、生活する場所として枚方の魅力的な部分をさらに磨いていくことを目標とするかどうかで手段は異なってくると思う。</p> <p>(谷本委員) 交通政策の充実の視点は、どちらかという枚方市駅周辺の再整備などハード・ソフトを含めたまちの整備とともに例示として挙げた上で、人々の交流や賑わい創出などにつなげた方がよいと思う。市内産業の活性化については、地域資源を生かしたりすることで、交流・賑わいが地域に根付いていくという流れで整理してはどうか。</p> <p>【ご意見に対する回答】（事務局） 枚方市はベッドタウンという特性があり、産業の活性化などを進めていくことで、交流や定住促進を図っていきたいと考えており、ご意見を踏まえて記載内容を検討する。</p>
11	<p>【重点的に進める施策】 「3. 人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる」</p>	<p>(徳久委員) この項目に、世代間交流や多文化共生といった人々の交流を積極的に図るという視点を入れることで、文化都市、生活都市としての枚方の魅力発信につながるように思う。</p>
12	<p>【その他】 （「重点的に進める施策」と「部門別の取り組み」との関係）</p>	<p>(橋本委員) 総合計画の全体イメージ図について、部門別の取り組みの中から重点化する取り組みを選択するという考え方の方が理解しやすいと思う。また、重点化する取り組みは、もう少し5つの基本目標をバランスよく配分した方がよいと思う。</p> <p>(加藤委員) 重点化すべき取り組みについては、5つの基本目標のどこかに力を入れるということだけではなく、協働の仕組みづくりなど、将来を見据えて最初のステップとして何を進めていくかという視点もあると思う。</p> <p>【ご意見に対する回答】（事務局） 総合計画は様々な分野の上位計画であるため、基本計画ではどうしても幅広いものにならざるを得ないが、考え方としては、まず重点的な取り組みを示し、そうした中で部門別の具体的な取り組みの中で強弱が出てくるものだと考えている。</p>
13	<p>【その他】 （基本構想の「めざすまちの姿」）</p>	<p>(谷本委員) めざすまちの姿について、「住み続けるんやったら」のフレーズが問いかけのようで違和感があるので、「住み続けましょう」など呼びかける内容にしてはどうか。</p> <p>(新川会長) 基本構想の内容については、基本計画の議論を踏まえて再度議論することになっているので、その際にも改めて意見を頂きたい。</p>